

マンダリン オリエンタル 東京  
日本橋観桜宴

マンダリン オリエンタル 東京 『日本橋観桜宴』  
2010年4月4日(日)

今年開業5周年を迎える6ツ星ホテル、マンダリン オリエンタル 東京では、  
2010年4月4日(日)、地元である日本橋芳町の芸妓衆と、紫綬褒章受章の邦楽家、本條秀太郎氏が  
日本橋に春を招く『日本橋観桜宴』を、グランド ボールルームにて開催いたします。

芳町の花柳界は江戸時代から今に続く、東京最古の伝統と格式を誇ります。芳町すなわち、日本橋人形町界隈は、江戸時代は明暦の大火(1657年)まで吉原遊郭があり、中村座など江戸歌舞伎の芝居小屋も集まる江戸随一の歓楽街で、元禄(1680年～1709年)の頃には芝居茶屋で芸を披露する三味線芸者が存在していたといわれています。明治に入り、芳町は東京で一番の伝統ある一流花街として全国にその名を知られ、日本で最初の女優として有名になった“マダム貞奴”は元芳町芸者でした。マンダリン オリエンタル 東京では、地元日本橋に江戸時代から続くこのすばらしい財産を広く内外のお客さまへご紹介するため、この度、芳町芸妓衆が地元日本橋に春を呼ぶイベントを主催することといたしました。

芸妓衆と芸のコラボで魅せるのは、数々の賞に輝く日本を代表する邦楽家の一人、本條秀太郎氏。古典の枠に留まらず、幅広い音楽活動を続ける氏が近年発掘を続けている「江戸端唄」の、春を奏でる楽曲がラグジュアリーなシティホテルのボールルームに江戸の風情を運びます。



東京に桜が咲き乱れる4月初旬、当ホテルで一番広い550㎡のグランド ボールルームにて、360度の壁面に自在に鮮明な画像や動画を映し出すオーディオビジュアル設備を駆使し、芸妓衆の艶やかな唄と踊りを、ハイテクな演出で盛り上げます。天井高6mのグランド ボールルームのインテリアは、もちろんマンダリン オリエンタル 東京ならではのシックでスタイリッシュな設え。江戸の端麗な文化を今に受け継ぎ、新しい風と共に次の世代へ伝える — 世界から賞賛される6ツ星ホテル、マンダリン オリエンタル 東京だからこそ実現できる、これまでになかった“アーバンシックな日本伝統芸能の会”をご期待ください。

マンダリン オリエンタル 東京 『日本橋観桜宴』 詳細

【日 時】 2010年4月4日(日) 開場15:30 / 開演16:00 / 演目終了予定17:00

【場 所】 マンダリン オリエンタル 東京 3階 「グランド ボールルーム」

【料 金】 鑑賞券 お一人様8,500円 (消費税込)

開演前および開演後のワンドリンクつき。

終演後、芸妓衆が写真撮影などに応じます。

ディナーつき鑑賞券 お一人様14,000円 (消費税・サービス料込)

38階 アジアンインスパイアダイニング「ケシキ」にてコースディナー、または  
2階 イタリアンダイニング「ヴェンタリオ」にてブッフェディナーをお選びいただけます。

\*きもの姿で鑑賞を希望される方には、きものレンタルや着付けもご利用いただけますのでお問い合わせください。

\*上記写真はイメージです

お問い合わせ: ホテル代表 03-3270-8800まで

鑑賞券販売: オンライン予約「e+(イープラス)」(<http://eplus.jp>)にて

ディナーつき鑑賞券販売: オンライン予約「一休.comショッピング」(<http://shop.ikyuu.com>)にて